

# モース研究会 へのお誘い!

ESモースは大森貝塚の発見者として有名ですが、実はダーウィン進化論の研究材料としてのシャミセンガイを求めて、明治10(1877)年に米国から来日し、江の島に東洋最初の臨海実験所を創設し、日本の生物学や考古学などに貢献した、江の島とゆかりの深い東京大学初の動物学教授です。進化論を日本で講演すると共に、明治初期の日本の姿を巧みなスケッチと共に記録し、陶器や民具などを収集して欧米に日本文化を紹介しました。家族同伴を含め3度も来日した親日家でもあります。



エドワード S モース  
1838~1925年

モース研究会は、モース博士の来日(1877年)100周年を記念して、1978年11月に設立されました。本会はモース博士の知的好奇心を学び、自然の恩恵を活かしつつ、歴史と科学的調査・研究・実践を通して文化の向上と国際親善に寄与する団体です。モース博士ゆかりの地である藤沢市江の島でモース顕彰碑の記念式典や講演会などを毎年行い、「モース研究」誌を発行しています。

★毎月の定例会は第2日曜日10時~12時に事務所で開かれ、年会費は3千円です。  
あなたも気軽に見学し、読書会を覗いて会員になりませんか! 2020年6月

## モース研究会

会 長: 広海 十朗 (日本大学 生物資源科学部 特任教授)

事務局長: 小野 精司 (問合せ先 s6ono@peach.ocn.ne.jp)

事務所: 〒251-0025 神奈川県藤沢市鵜沼石上1-1-1

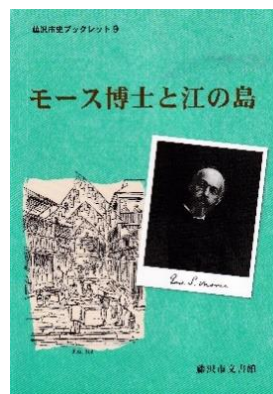
江ノ電第2ビル7階 ☎ 0466-26-3028

★詳しくは当研究会のホームページをご覧ください。

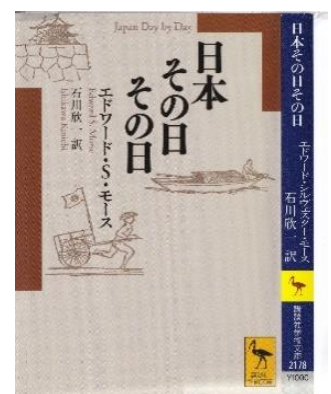
<https://morseken.jimdofree.com> 「モース研究会」で検索できます



モース顕彰記念碑  
市民団体と有志により  
1985年 江の島北緑地に建立



モース研究会が執筆した  
藤沢市史ブックレット9  
「モース博士と江の島」  
2018年2月



月例読書会のテキスト  
モース著「日本その日その日」  
2020年1月~